



杉並区立井荻中学校運営協議会だより

令和3年度第3回井荻中学校運営協議会活動報告

井荻中学校運営協議会

会長 佐々木 秀幸

◆会長挨拶・・・お忙しい所、ご参集戴きまして有難うございます。緊急事態宣言ということでございますので、この会議も出来るだけ短時間で簡潔に終了したいと思いますのでご協力の程宜しくお願い致します。

◆議題・・・座談会について

①主任養護教諭渡辺先生より「電子メディアと健康 1年間の取り組みについて」

「日本教育科学研究所」の協力の下、生徒の保健給食委員会を中心に健康に関する活動を行っています。従来の雑務中心の委員会活動から脱却し、コロナという厳しい環境の中で「電子メディアと健康」というテーマで自分達の健康に関する様々な活動を行っています。メディアファイルの作成、「読書と健康」に関する啓発資料作成、生活習慣に関する動画作成等の活動を通して生徒の主体性・自主性が育まれつつあります。また「電子メディアと健康」に関する研修会や講演会も実施しています。保護者の方へも4月にアンケートをとらせて戴きました。タブレットに期待を持っている方が多かったです。タブレットを使うことで将来の進路選択だとか社会人になってからの技術を身につけて欲しいというようなクリエイティブな意見が多かったです。講演会では講師の清川先生がメディア機器の恐ろしさに触れられていました。メディア使用の時間に比例して学力は低下するという事です。遊びでスマホをしていても学習でタブレットを使用していても目的に関係なく、画面との暴露時間に影響されるということです。諸外国は学習のために電子機器を使うということがすり込まれていますが、日本はゲームやスマホが周りにあって、タブレットがきても一つの娯楽の道具が現れたと生徒は受け取っています。この点の解決も必要です。

座談会に期待することの一つは、電子メディアの効果的な使用方法をご家庭と学校が共有することです。アンケートの結果では7割の家庭でスマホやゲーム器の使用に関してルールを決めています。こういう関わり方をすれば効果的であると言うような事をお聞かせいただければ有難いです。私は、スマホは中学生の間は与えない方が良いと思っています。しかし多くの生徒が所有している現状ではルールで縛り付けても反発するだけです。保護者の方から実態を聞いたり、共有出来れば良いと思っています。

②校長先生・・・杉並区からはタブレットが一人一台配布されその使用は各学校に任されています。メディアを使うことの健康課題とタブレットを使いこなす課題の両方をふまえた学校教育ですので、今回皆様の座談会の中で話し合いを深めていって様々な考え方を導き出して戴いた上で生徒達に効果的に活用させて行くにはどうしたら良いか。健康面ではどのように考えて行ったら良いか意見交換して戴きたいと思えます。

③座談会「電子メディアと健康」実施要項(案)

目的：生徒の電子メディアの活用と健康について、地域・保護者の方の意見や考えを伺う。

日時：令和3年9月18日(土)10時00分～11時30分

参加者：PTA役員（10名）、教員（校長、副校長、他に2名）、CS委員6名

会場：多目的会議室

- 次第：1、会長挨拶 ※(1)教員より「メディアと健康」について発表
2、校長主旨説明 (2)(1)についてグループ内で意見交換
3、オリエンテーション (3)教員より「メディア活用」について発表
4、グループ討論(4人1組) ※(4)(3)についてグループ内で意見交換
5、グループ毎に発表 (5)グループ内で出た意見を全体に発表

④実施要項(案)等に関する意見

- ・電子メディアの利用は今後の中学校教育の大きな転換期になるのではないかと思います。CSとしては真剣に取り組み、言うべきことはきちんと言うことが必要だと思います。区の教育委員会は流しっぱなしという感じが多い。こちらから問題点を見つけ、区へぶつけていくことがあっても良いのではないかと。
- ・グループ討論で教員の発表に基づく意見交換はどのような内容を述べるのか？それによって座談会の方向性が決められる可能性があるので注意が必要。
- ・メディアと健康については先行研究があるのだろうか？その点保護者にどの程度伝わっているのか。先行研究について結果が出ているものを座談会で話しても深まっていけないのではないかと。事前にお知らせ戴きたい。仮説について座談会で討論するのは難しい。
- ・保護者はタブレットの使い方は分からない。メディアと健康という組み合わせが保護者にはわかりづらい。健康とは視力のこととか脳のことをさしているのか、スマホで体重管理等も出来るようだが何をさしているのか分かりづらい。渡辺先生が電子メディアは使用する内容にかかわらず時間の長さが脳に影響するとおっしゃった。子供達が学校でもメディアを使用し、家でも寝るまで使っている。その辺に関して保護者としてどのように注意していかなければいけないのか分からないので、警告も含め教えて戴きたい。
- ・私が保護者の立場として参加するとしたら、自分の子どもから聞いたことや自分の子どもが取り組んでいることであれば発言できるが、学術的・専門的な事について討論するのは難しい。身近な話しやすい事から入っていけるようにしてあげて下さい。
- ・タブレットが主でスマホを従に話をするのか、その逆なのか。はっきりさせる必要がある。メディア学習に触れないわけには行かないのだから、タブレットを主にしてはどうか。

以上のような意見を下に実施要項(案)のグループ討論についての具体策は学校で再検討することになりました。

次回は9月27日(月)16:00～ 於：多目的会議室 傍聴希望者は副校長まで